

# 中山間地域の担い手による耕作放棄地の解消

## こじま 富山市 山田小島地区

### 状 況

放棄の理由：高齢化の進行及び担い手の減少による労働力不足

荒廃の程度：雑草・雑木の繁茂が見られ、人力のみによる再生作業が困難

### 取組概要

対 象 面 積：0.37ha(畑)

実 施 期 間：平成25年8月～平成25年11月

取組のきっかけ：所有者の高齢化により雑草や雑木の繁茂が著しいことから、地域内の担い手が農地を再生し、地域特産作物の栽培を目指したもの。

取 組 主 体：認定農業者

作 業 内 容：人力のみでの再生作業が困難なため、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、草刈りや重機等による再生作業を行った後、そばの作付を行った。

### 今後の予定

取組主体は、継続的にそばを栽培し、地域内農協等へ出荷を行うこととしている。



雑草除去作業



耕起作業



耕起完了後

# 景観作物の導入による耕作放棄地の解消

ひらやなぎ・つきやましん

## 朝日町 平柳・月山新地区

### 状 況

放棄の理由：高齢化の進行及び担い手の減少による労働力不足

荒廃の程度：雑草が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

### 取組概要

対 象 面 積：0.34ha(田)

実 施 期 間：平成25年5月～平成26年3月

取組のきっかけ：当放棄地は北陸自動車道、国道及び県道に囲まれ、朝日町が景観上重要と判断した地域に位置することから、その解消と景観改善の必要があった。

取 組 主 体：朝日町農業再生協議会

作 業 内 容：美しい農村景観整備事業(景観改善型)を活用した草刈りや農業機械による耕起作業の後、緑肥・景観作物(ハゼリソウ、レンゲソウ)の作付を行った。

### 今後の予定

復元した農地は、継続的に保全管理を行い、国道、県道及び役場周辺の景観美化を促進させることとしている。



荒廃状況



耕起作業



播種作業

# 地元生産組合による耕作放棄地の解消

## いくじ 黒部市 生地地区

### 状 況

放棄の理由：高齢化の進行及び担い手の減少による労働力不足

荒廃の程度：雑草が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

### 取組概要

対 象 面 積：0.50ha(田)

実 施 期 間：平成25年4月～平成26年3月

取組のきっかけ：当地区では担い手の高齢化の進行等により耕作放棄地が増加し、周辺農地の営農活動や周辺住民の良好な生活環境等に支障を来していることから、水田の多面的機能の維持に努めるため、復元の必要があった。

取 組 主 体：生地西部生産組合

作 業 内 容：平成24年度から平成25年度にかけて、美しい農村景観整備事業（一般型）の耕作放棄地復元整備事業及び耕作放棄地活用促進事業を活用し、草刈り及び耕起等の保全管理を行った。

### 今後の予定

復元した農地は、生地西部生産組合が引き続き、保全管理を行う。また、その有効活用を図るため、景観作物の作付を行うことも検討している。



荒廃状況



除草作業



除草作業完了

# 農業者が中心となった耕作放棄地の解消

## えぐち にしおざき 魚津市 江口・西尾崎地区

### 状 況

放棄の理由：高齢化の進行及び担い手の減少による労働力不足

荒廃の程度：雑草・雑木の繁茂が見られ、人力のみによる再生作業が困難

### 取組概要

対 象 面 積：0.10ha(田)

実 施 期 間：平成25年5月～平成26年3月

取組のきっかけ：当地区を横断している国道には富山市方面又は黒部市方面へ向かう車が往来しており、魚津市が景観上重要と判断した地域(農地)であることから、復元の必要性が高まった。

取 組 主 体：魚津地域担い手育成総合支援協議会

作 業 内 容：美しい農村景観整備事業(景観改善型)を活用した草刈りや農業機械による耕起作業の後、景観作物(コスモス)の作付を行った。

### 今後の予定

復元した農地は、地元農業者が継続的に保全管理を行い、国道周辺の景観美化を促進させ、近隣住民や市外からの通勤者などに親しみのある地域を目指している。



荒廃状況



雑草除去



景観の美化

# 農業委員会の主導による耕作放棄地の解消

かなや ほんごう

## 小矢部市 金屋本江地区

### 状 況

放棄の理由 : 担い手の減少による労働力不足

荒廃の程度 : 雑草の繁茂が見られ、人力のみによる再生作業が困難

### 取組概要

対 象 面 積: 0.08ha(田)

実 施 期 間: 平成25年4月～平成25年5月

取組のきっかけ: 当地区は北陸新幹線(工事中)、国道及び県道に近隣した文教地区にあり、小矢部市が景観上重要と判断した地域(農地)である。しかしながら、耕作者の不在により、農地の保全管理が行われず雑草の繁茂が著しい状態で放置されていたことから、農業委員会の指導により継続的に保全管理が出来る耕作者が決まり、農地の再生に取り組んだ。

取 組 主 体: 小矢部市担い手育成総合支援協議会

作 業 内 容: 美しい農村景観整備事業(景観改善型)を活用した草刈りや農業機械による耕起作業を行った。

### 今後の予定

本事業で復元した県道沿いの農地に水稻を作付け、安定した収穫を見込むとともに、周辺農地とあわせて良好な散居景観を形成・維持させることとしている。



荒廃状況



耕起作業



水稻植付

# 地元ボランティアによる耕作放棄地の解消



いぐりだにしん

## 砺波市 井栗谷新地区

### 状 況

放棄の理由 : 所有者の高齢化による労働力不足等

荒廃の程度 : 雑草・雑木の繁茂が見られ、再生作業が必要

### 取組概要

対 象 面 積: 0.10ha(田)

実 施 期 間: 平成25年11月

取組のきっかけ: 所有者の高齢化により農地の管理ができない状況にあり、雑草や雑木の繁茂が著しかったため、農業委員会の呼びかけにより取り組まれた。

取 組 主 体: 砺波市農業委員会

作 業 内 容: 地元農業委員会のボランティアにより、草刈り及び伐採の再生作業後に、ふく福柿の苗木を移植した。

### 今後の予定

地元「ふく福柿生産組合」が継続的にふく福柿の生産を行い、販路を展開して出荷を行うこととしている。



作業前



雑草除去作業



苗木移植